

令和3年度

第3回松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会(メール会議) 議事要旨

期 間 : 令和3年11月22日(月)～11月25日(木)

出席者 : 委員長 長澤 公洋 (大学経営・財務, 事務総括担当理事)

委員 福井栄二郎 (法文), 塚田 真也 (教育), 高見 友里 (人間)

田中 秀和 (総理), 足立 文彦 (生資), 瀬戸 浩二 (本部)

福間 栄子 (企画部長), 吉木 茂 (教育・学生支援部長)

中島 修 (総務部長), 吉松 純昭 (財務部長)

周藤 義男 (エネルギー管理員)

中井 建琉 (学生 EMS 委員), 篠原 歩睦 (学生 EMS 委員)

松尾 和巳 (島根県) 吉岡 英志 (松江市), 田中 秀典 (環境保健公社)

巢山 弘介 (生資)

○令和3年度第2回松江キャンパス EMS 改善委員会議事要旨

【資料1】

事前に確認いただいている, 第2回松江キャンパス EMS 改善委員会議事要旨について, 委員からの意見等は無かった。

議 題 :

1. 島根大学における冬季の省エネルギーの取組みについて

【資料2】

島根大学における冬季の省エネルギーの取組みについて, 委員から以下の意見があり, 担当者より回答した。

【委員からの意見①】

・「3.節電取組実行計画行動指針」中の「業務効率化による超過勤務の削減」は, 省エネルギーに直結するのか。「業務効率化による学内滞在時間の縮小」でいいのではないか。

【施設企画課回答】

・エネルギー削減に繋がる具体例の一つとして「超過勤務の削減」という文言を明記しております。

【委員からの意見②】

・冬季の電気使用量については, 温度条件が大きく影響するので, 3.5%の削減は, 温度当たりのエネルギー使用効率などで達成するべきであろう。結局, 大きく使用量を減らそうとすれば活動の縮減によることになるので, エネルギー効率を上げることを目標とすべきだと考える。

【施設企画課回答】

・EMS としての省エネルギーの取組みでは, 各構成員において「1.EMS 節電対策基本方針」及び「3.節電取組実行計画行動指針」を理解していただいた上で, より合理的な教育・研究活動の実施のため, 「4.具体的な省エネルギーの取組み」を計画的かつ積極的に取組んでいただき, また, 「5.抜本的な節電の取組例」を参考に, 構成員一人一人が今後の削減目標に向けて, 省エネルギー対策のみならず, エネルギー効率を上げるなどの取組みが重要だと考えています。

また, 設備機器等の更新によるエネルギーの効率化についても, 並行して取組んでいきます。

【委員からの意見③】

- ・暖房器具の二重使用については、労安衛法が 17℃以上の職場環境を求めていることから、条件によっては認めざるを得ないのではないかと。特に、卒論時期なので、厳しく電気ストーブ等を禁止すると、カセットガス式のストーブやキャンプストーブを学内に持ち込んで夜間や休日に使用するなどの事故の危険性を招くので、協力の表現には注意が必要かと思う。

【施設企画課回答】

- ・暖房器具の二重使用は原則禁止としますが、暖房器具単体では室内温度が常に 17℃以下になる場合は除く旨を追記します。(資料 2:「島根大学における冬季の省エネルギーの取組みについて (案)」赤文字部分)
なお、部屋の構造によっては状況が異なることから、「4.具体的な省エネルギーの取組み」を参考に、適正な職場環境を維持しながら、省エネルギーに取り組んでいただくようお願いいたします。

【委員からの意見④】

- ・1) 室内温度の 19℃設定と 2) 暖房器具の二重使用 (エアコン+電気ストーブ, 等) の禁止によってどの程度の削減ができるのかを示さないと節電の実施につながらない、あるいは節電実績に貢献しないと思われる。
- ・省エネルギーの取組みについて記載されているが、どの程度の省エネ効果があるのかわからない。参考でもいいので、各取組みによる省エネ効果が分かるようにしたほうが良い。
- ・節電については、ポットや電気ストーブ等の存在数の実態調査を行う必要があると思います。それら負荷がどの程度で、これらの使用をどの程度抑制すると、〇〇kW 減らせますというような目論見書を提示していただきたく思います。そうでないとどの程度の削減が可能かどうかかわからず、量的な計画が立てられないのではないのでしょうか。

【施設企画課回答】

- ・取組みによっては数値化できないもの (重ね着, ブラインドやカーテンの有効利用, 等) はありますが、数値化が可能な取組みについては、参考値を追記いたしました。(資料 2:「島根大学における冬季の省エネルギーの取組みについて (案)」赤文字部分)

【委員からの意見⑤】

- ・空調について、大学内は全体的に節電されていると感じますが、図書館は時々少し温度が高いと感じることがあります。今年の夏は図書館が寒く、明らかに設定温度が低いと感じることがありました。かなりエネルギーを無駄にしているでしょうし、利用者も不快であったと思います。

【施設企画課回答】

- ・図書館にはこのような意見があったということをお伝えし、対応を検討していただきます。

【委員からの意見⑥】

- ・令和 2 年度と令和 3 年度の比較をしている結果が多いですが、令和 2 年度は新型コロナウイルスによる影響 (講義のオンライン化など) により、比較対象としてはあまり適切でないと考えます。可能であれば、令和元年度もデータを付け加えるといいと考えます。

【施設企画課回答】

- ・ご意見のとおり、令和元年度のグラフを追加いたします。
なお、2030 年度までに温室効果ガスを 2013 年度比 46%削減するには、令和 3 年度は

令和 2 年度比 3.5%以上の削減が必要となることをご理解いただき、節電への取組みをお願いいたします。

本議題は各委員より提出された確認票において、全て可決であったため承認された。
なお、確認票中の意見については、別途、施設企画課より回答した。

報告事項：

1. 令和 3 年度各部局等の EMS 実施内容(計画)について

【資料 3】

令和 3 年度各部局等の EMS 実施内容(計画)について、委員から以下の意見があり、担当者より回答した。

【委員からの意見①】

- ・大学の「具体的な省エネルギーの取組み」では、「室内温度の 19℃設定」としているが、教育・学生支援本部の報告では「冬：20℃」となっているが、「冬：19℃」とすべきではないか。

【施設企画課回答】

- ・教育・学生支援本部へ確認し、19℃へ修正いたしました。

その他：

その他、委員から以下の意見があり、担当者より回答した。

【委員からの意見①】

- ・省エネだけでは、カーボンニュートラルには程遠いため、自然エネルギーなどを活用したカーボンニュートラルに資する施設が必要なのではないでしょうか。

【施設企画課回答】

- ・島根大学ビジョンを踏まえ、SDGs の取組みを全学的に進めていますが、今後は、政府の掲げる 2050 年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に対して全学的方針を定め、その上で施設の ZEB 化計画を策定し、整備を進めます。